

各教科の特性を踏まえた、東方中学校における「主体的・対話的で深い学び」を生む学習構成表

家庭科

段階	定義	活動場面	教科の特性を考慮した活動（生徒の立場で記入する。）	ICTの活用
主体的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 問いや疑問に対して、これまでに学習してきた知識や技能を使って、自分の考えをもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題を提示する。 ● 作業方法や手順を考える。 ● 課題解決の計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時の学習課題を確認する。 ● 前時までに学習した内容の中から、本時の学習課題に関することを確認する。 ● 本時の学習課題に対する自分の考えについて、根拠を入れてまとめる。 ● 本時の課題に対して、作業計画を立てたり手順を考えたりする。 ● 素早く、仕上げを美しくするための技術の習得を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、発表ノートを配付し、学習課題に対する自分の考えや目標などをまとめさせる。 ● 教師用タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、各生徒の考えを確認する。 ● 電子黒板等を使って、課題に対する具体的なイメージを広げ、理解を深めさせる。 ● 動画などを通して、作成の手順や衣食住に関する正しい理解を深めさせる。
対話的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 他と対話しながら、自分の考えを比較・吟味するなどして、考えを広げたり深めたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 予想や予想の根拠をグループで検討する。 ● 方法や手順の計画をグループで検討する。 ● 各グループの考えやその根拠を全体で検討する。 ● グループで話し合ったり、見直したりする。 ● 検討した内容をもとに、学習課題に対する達成状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各自が立てた考えやその根拠を発表し、全体で検討する。 ● グループをつくり、各自が考えやその根拠を発表し、グループで検討する。 ● グループをつくり、各自が考えた方法や作業等の計画を、グループで検討する。 ● 各グループで検討した考えやその根拠をグループの代表が発表するなど、全体で検討する。 ● 全体で検討した考えやその根拠をもとに、自分の考えやその根拠を見直す。 ● グループでまとめた考えを検証するために、さらに話し合いを行う。 ● 各自及びグループの考えた結果を記録に残す。 ● 各自の考えをもとに、グループで意見交換してよりよい考えにまとめる。 ● グループで話し合った内容を発表し、全体で確認したり、意見交換したりする。 ● 作業の各段階において、相互で見合わせたり、見直したりして協力して作業を行う。 ● お互いに助け合いながら作品等を完成する。 ● 本時で学んだ知識や技能を全員で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 調理実習の計画をさせる際に、タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、何を作るか材料や量など、お互いに意見を交換させる。 ● 電子黒板とデジタル教科書を用いて、手順の確認をさせたり、考え方の違いを確認させたりする。 ● パワーポイントを用いて共同的作業の機会を与え、達成感を味あわせる。
深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分のこれまでの考えと新たな考えをつなげること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習のまとめを行う。 ● 新たな課題を見つける。 ● 自らの取組等を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題解決のために自ら取り組んだ内容を振り返り、本時に学習した内容を整理してノートにまとめる。 ● 前時までに学習した内容と、本時に学習した内容がどのように関係しているのか確認する。 ● 本時に学習した内容から、新たな課題を見つける。 ● 他の作品と比較して、自分の学習目標が達成できたか振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● おもちゃや設計などを考える際に、タブレット PC を用いてよりよいものを作り上げさせる。 ● タブレット PC に記載したものを、電子黒板に提示し、それをもとに自らの考えと照合させる。 ● 動画や資料を実際の映像として確認させ、イメージとの違いに気づかせる。